

講演者プロフィール

関崎勉 Tsutomu Sekizaki

所属：東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター（東京都）

略歴：

北大獣医学部卒業後、農水省家畜衛生試験場、動物衛生研究所を経て、2008年7月より現職。2010年4月から食の安全研究センター長。



現在の活動について：

専門の細菌学研究だけでなく、消費者向けに食の安全に関する情報発信も行っています。様々な情報が氾濫する中で、正しい情報が少しでも多くの消費者に届くよう活動を続けます。

細野ひろみ Hiromi Hosono

所属：東京大学大学院農学生命科学研究科生態調和農学機構（東京都）

略歴：

平成8年 東京大学農学部農芸化学科卒

平成11年 東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻修了

平成15年 同研究科農業資源経済学専攻単位取得退学、帯広畜産大学COE研究員

平成16年 帯広畜産大学大学院畜産衛生学専攻助手

平成19年 京都大学大学院農学研究科寄付講座「食と農の安全・倫理論」准教授

平成22年より東京大学大学院農学生命科学研究科科学コミュニケーション准教授



現在の活動について：

食の安全をめぐるフードシステム各主体の行動について研究しています。

沼沢美知雄 Michio Numazawa

所属：みやぎ生活協同組合産直推進本部（宮城県）

略歴：

1979年 東北大学農学部農芸化学科卒業後、一般企業に就職

1981年 みやぎ生協入協

2010年より現職



現在の活動について：

東日本大震災により破壊された一次産業の復興をお取引先の皆様と「食のみやぎ復興ネットワーク」を作り進めています。宮城県は水産業でも全国に誇る実績を持っていますが、放射性物質汚染と風評被害に苦しんでいます。地域産業を盛り立てることも協同組合の務めと認識しています。

鈴木伸洋 Nobuhiro Suzuki

所属：酪王乳業株式会社（福島県）

略歴：

大学卒業後、昭和57年入社。酪農専門農協乳業一筋30年。

現在の活動について：

（永遠の活動）酪農家とお客様を結ぶ企業として、より良い商品とサービスの提供。



菅野義樹 Yoshiki Kanno

所属：和牛繁殖農業経営（北海道）

略歴：

酪農学園大学で農業経済を学んだ後、自由学園の農場職員として持続可能な放牧酪農を担当。その後、長野での木工修行、ニュージーランドで持続可能な農的暮らしを学ぶ。飯舘村の実家に戻り放牧と自給飼料主体の和牛生産、放牧和牛肉販売を行っていたところ、原発事故に遭う。

現在の活動について：

北海道の牧場で働きながら、飯舘村に桜を植えるプロジェクト「つながるつなげるさくらプロジェクト」やファシリテーターの力を借りながら飯舘の若手が話し合う場「まていな対話の会」を企画。



上野裕 Yutaka Ueno

所属：酪農業経営（茨城県）

略歴：

1968年生まれ

1991年 北海道酪農学園大学酪農学部卒業後、就農

1994年 結婚

2006年 放牧酪農に転換、現在に至る

現在の活動について：

レスター・ブラウン博士の「誰が中国を養うのか」に触発され、輸入穀物依存の農法から脱出するために放牧酪農に転換。最初は経済的な理由で放牧を採用したものの循環農法と畜産の可能性と魅力に魅了される。関東の放牧酪農の可能性をあらゆる角度から探索中。

妻と3人の子どもの5人家族。



近藤隆 Takashi Kondo

所属：富山大学医学部放射線基礎医学教室（富山県）

略歴：

昭和55年 北海道大学大学院獣医卒

昭和56年 福井医大医学部放射線基礎医学教室助手

在任中に米国国立衛生研究所国立癌研究所放射線腫瘍学部門に留学

平成3年 神戸大学医学部放射線基礎医学教室講師(兼放射線施設講師)

平成7年より富山医科薬科大学(現富山大学) 医学部放射線基礎医学教室教授



現在の活動について：

学生時代より、放射線の生物作用を中心に研究して来ました。昨年、東京電力福島第1原子力発電所の事故以来、放射線の教育の必要性を痛感しております。本学でも、医学科だけでなく、看護学科や薬学部でも講義を担当することになりました。放射線は医療面では、診断治療に必須の手段となっていますが、「正しく怖がり、賢く利用する」ために、少しでも広く放射線教育が進むことを望んでいます。

田野井慶太郎 Keitaro Tanoi

所属：東京大学大学院農学生命科学研究科放射性同位元素施設（東京都）

略歴：

平成7年 栃木県立佐野高等学校卒

平成7年 東京大学 理科Ⅱ類入学

平成15年 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程中途退学、
東京大学生物生産工学研究センター助手

平成19年 東京大学生物生産工学研究センター助教

平成24年より東京大学大学院農学生命科学研究科准教授



現在の活動について：

東京大学大学院農学生命科学研究科で実施している放射能汚染に関する取り組みについて、放射線測定面の面から支えています。

澤野林太郎 Rintaro Sawano

所属：共同通信社社会部（東京都）

略歴：

1999年共同通信社入社。社会部、津支局、札幌編集部、外信部を経て社会部、消費者庁や農水省を担当。主に食の安全安心、食糧問題、消費者事故について取材。

現在の活動について：

食品と放射性物質について取材

